

### ● 推薦入試・AO入試 A 日程第二次選抜

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

設問1 文章の内容を100字以内に要約しなさい。

設問2 「おもてなし」は日本の伝統文化である」という風潮に対して、本論の趣旨を踏まえ、あなたの意見を700字以内で述べなさい。

われわれは、日本画と聞くと、当然のこのように平安時代のやまと絵や江戸時代の琳派であるとか狩野派の絵を思い浮かべる。また、日本画といえば、大多数の人がこの日本ですっと描き続けられてきた固有の絵画であると信じて疑わない。

しかし「日本画」は、明治時代に作られたジャンルであって、西洋画に対するものとして19世紀末に急速に定着していった概念であることが指摘されて久しい。要するに、日本画は、西洋の画法が近代日本に急激に押し寄せてきたことによって、それまでの従来の絵画が西洋画との対抗関係の中で自覚させられて、そこではじめて意識化されたのである。

したがって日本画は、そもそもが西洋絵画の色濃い影響を受け、それとの葛藤によって形成されたといつてよい。ところが、そうした日本画の生い立ちは忘れ去られて、いつしか古代以来、連綿とした日本画の伝統があったかのように語られてきた。いうまでもなく日本画は、れっきとした近代の歴史的な産物であったのである。

このことに関わって興味深いのは、日本で最初に活字になった日本美術史である『稿本日本帝国美術略史』が、明治33年(1900)年のパリ万国博覧会にむけて編纂された“Histoire de L'art du Japon”の和文への翻訳であったという事実である。つまり、近代になって最初にまとめられた日本美術史は、そもそも日本人の読者を対象にして書かれたものではなかったのである。こうした事実から、日本美術史なるものが、何よりも西洋人に対する日本美術史として、新たに創り出されなければならなかったという経緯がみてとれるであろう。

要するに、「日本画」「日本美術史」が最初からあったわけではなく、西洋の眼差しを強烈に意識しながら、懸命に「日本」を語らなければならなかったのである。

(李成市『闘争の場としての古代史—東アジア史のゆくえ』岩波書店、2018年、19-20頁より抜粋)

### ● AO入試 B 日程第二次選抜・TG推薦・資格取得推薦入試 B 日程

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

設問1 文章の内容を100字以内に要約しなさい。

設問2 筆者の主張に対してあなたの意見を700字以内で述べなさい。

Whataboutism と呼ばれる論法が存在する。日本語で言うと「どの口が言うか」である。ソ連時代にプロパガンダとして頻用された。西側諸国がソ連国内の人権抑圧を非難すると「そっちだって奴隷制度があっただろう」と切り返して、批判を無効化しようとした。使い勝手がよく、論争的な人々はこの論法を偏愛する。ネット上の「論争」の過半はこのタイプの「まぜっかえし」である。

起源は古い。パリサイ派の人々がイエスを試そうとして姦淫(かんいん)の罪に問われた女について尋ねたことがあった。「律法はこのような女は石打ちの刑に処すように定めていますが、先生はどうお考えになりますか」。イエスは答えた。「あなたがたのうちで罪のない者が最初に彼女に石を投げなさい」。すると、石を取る者は一人もいなかったと『ヨハネ福音書』にはある。「真に潔白な者だけが他人の非を咎(とが)めることができる」というルールを採択すれば、誰も他者の罪を問うことができなくなるということは古代から知られていた。

この論法の近代における白眉(はくび)はレーニンの『帝国主義論』である。そこでレーニンは「英国の労働者は英国帝国主義の植民地支配から受益しているので、真のプロレタリアではなく、『労働貴族』である」という主張を展開した。プロレタリアにも「ほんもの」と「にせもの」があり、「にせものの被抑圧者」には階級闘争を担う(「石を投げる」)資格がないという論法は以後の左翼的な社会理論全般にゆきわたった。けれども、この論法を突き詰めると、最終的には、最も抑圧され、最も収奪され、すべての人権を剥奪(はくだつ)された「理想のプロレタリア／サバルタン」以外には人権について語る資格のある者はいないという潔癖主義的な極論に至る。

この論法の本質的な欠陥は、正義や人道について語る資格を厳密に限定すればするほど、正義や人道が棲息できる場所がこの世から失われてゆくという逆説にある。

「どの口が言うか」とお互いに相手の求める「きれいごと」を失効させてゆくうちに、世の中は不可避免的により薄汚れたものになる。その予測に私は怯(おび)えるのだが、共感してくれる人はきわめて少ない。

(内田樹「どの口が言うか」の論争で正義や人道が消えていく」、『AERA』2018.1.22号。

<https://dot.asahi.com/aera/2018011600081.html?page=1>より)

# 2019年度 推薦入試・AO入試・特別入試 小論文問題 (工学部)

## ●推薦入試・AO入試 A日程第二次選抜

### 機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
近年、ドローンと呼ばれる小型の無人航空機(撮影・輸送などに利用可能)に注目が集まっています。  
これを利用する上での問題点を指摘した後に、将来どのように活用すべきかについて、あなたの考えを述べなさい。

### 電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
次の3つのキーワードの中から1つを選択し、現在の技術的動向ならびに社会的・政治的側面から見た現状について具体例を挙げて説明し、今後どのように発展していく事が望ましいか述べなさい。  
選択肢  
キーワード：1. 再生可能エネルギーや電気自動車普及に関する電力・制御技術  
2. 医療や福祉の高度化に関する情報・通信技術  
3. 情報通信発展に関する電子・材料技術

### 環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
今年、イタリア北部において、完成から50年以上経過した高架橋が約200mにわたって崩落し多くの死傷者がでた。日本においても50年を経過している橋が数多く存在しているが、同様の事故に繋がらないようにするためには、どのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。

### 情報基盤工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
AI技術の進展は私達の暮らしを大きく変えようとしています。20年後、AI技術によって社会はどのように変化するか？あなたの考えを述べなさい。

## ●AO入試 B日程第二次選抜・TG推薦入試

### 機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
近年、地球温暖化対策に関連して太陽光発電などの自然エネルギーに注目が集まっています。自然エネルギー活用における現在の問題点を指摘した後に、将来必要な取り組みについてあなたの考えを述べなさい。

### 電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
スマートフォンや電気自動車には、バッテリー(蓄電池)や各種センサ等の電氣的技術が種々用いられている。また、スマートフォンの写真撮影や電気自動車の自動運転にはAI(人工知能)によるプログラムも活用され始めている。これらの機器に搭載されている「電氣的技術」についてあなたが知っている事を述べ、さらに、これらの機器に搭載される「AI(人工知能)」が今後どのように発展していくことが望ましいか、あなたの意見を述べなさい。

### 環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
最近、プラスチックストローの使用禁止を宣言する飲食店が世界的に増加している。この取り組みはどのような問題に対して行われているのか、また、この問題を解決するために、他にどのような取り組みを行うべきかについて、自分の考えを述べなさい。

### 情報基盤工学科

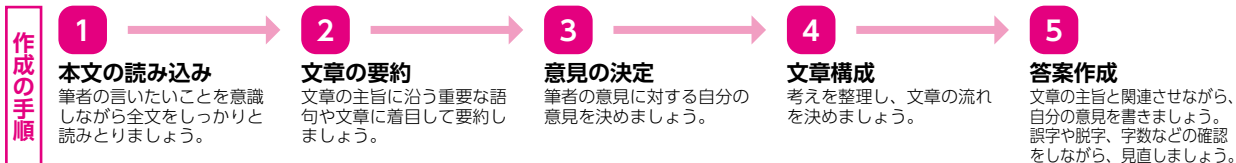
次の問題文について、600字以内で答えなさい。  
IoTは私達の暮らしを大きく変えようとしています。20年後、IoTによって社会はどのように変化するか？あなたの考えを述べなさい。

## アドバイス

### AO入試・推薦入試・特別入試 小論文作成のアドバイス

本学の小論文は、文・経済・経営・法・教養学部と工学部で問題形式が異なります。次の手順のように順序立てて書いてみましょう。

#### 文・経済・経営・法・教養学部 ○文章を読み、要約と意見を論述する形式(資料読解型小論文)



#### 工学部 ○課題(テーマ)について意見を論述する形式(課題(テーマ)型小論文)

